



東京全労協

2014年9月19日 67
東京都港区新橋6-7-1
川口ビル6F
TEL. 03-5403-1650
FAX. 03-5403-1653
発行人 纈纈 朗
定価 1部 10円

心して歩けば より真実が見えてくる

東京全労協足尾学習交流に参加して

9月6日〜7日東京全労協が主催する「足尾学習交流」が36名の参加で行われた。

東京全労協は、毎年現地フィールドワークをおこなっているが、今年は「反公害闘争の原点」と言われている足尾に行った。栃木県日光市足尾には、江戸時代に発見、採掘されていた銅山を古河一族が買い取り経営していた足尾銅山があった（1877年〜1973年）。ここで、実際に見たことやガイドさんのお話を聞きながら感じたことを報告したい。

田中正造の事業を今につなぐ

田中正造は、死の数時間前「お前方は田中正造に同情して来ているのか、田中正造の事業に同情して来ているのか」と問うたという。田中正造の行った事業とはまさに「反公害」闘争であり、人権闘争であった。バスの中で田中正造の生涯を描いたビデオを観た。足尾銅山の採掘事業によって足尾から渡良瀬川流域は川に流される鉱毒と空中に



東京全労協交流合宿2014、足尾銅山の地で学習と交流（9月6〜7日）

まき散らされる亜硫酸ガスによって自然と農業と生活が破壊され人々は苦しめられていた。

こうした中で「押し出し」という今でいえばデモを組織し、谷中から何度も警察の警備をかくぐつて上京し、国会や古河家に要求を突きつけた。これを受けて衆議院議員であった田中正造は議院内で時の政府を鋭く追及した。

1900年逮捕者百人以上（後に全員無罪）を出す川俣事件。なんら改善されるどころか弾圧がひどくなる中で彼は、1901年議員を辞職し、天皇への直訴行動を行った。その後も農村化攻撃に苦しむ谷中村に住みつき生涯闘い抜いた。

このビデオを見た後、「足尾鉱毒事件田中正造記念館」に向かった。

記念館では、副館長さんから鉱毒事件の詳細な説明があった。渡良瀬川下流域では、雨が降ると鉱毒によって禿山となった山から土砂が流れ込み、田畑を土砂と鉱毒が覆い尽くした。坑内で働く人たちは「よるけ」（珪肺病）によって苦しめられ、幼い子供たちは次々と死に母親の母乳も鉱毒に侵されていたこと。こ

うした中で、明治の封建制度が色濃く残る時代に女性たちは子供と母親のためにカンパを集め、「女押し出し」を行ったこと。当時の学者たちが「健康被害は鉱毒のせいではない」ということに対して、真実を科学的な根拠をもって突きつけたことなどの説明があった。

樹木を植え付けるという作業は、銅山閉鎖までは主に古河に勤めていた家族の女性たちの手で、閉山以降は国やボランティアの手によって一つ一つ進められているというのをガイドの山田さんから説明を受けた。

鉱毒問題はもとより、戦時中においてこの鉱山には中国人（157人）、朝鮮人2416人、欧米人捕虜400人が働いていた。多くは強制連行され、日本人の約75%以下の賃金と病気で休むこともできない過酷な労働と管理体制の下で働かされていた。

産業遺産が語るもの

続いて、「足尾歴史館」へ行った。この歴史館は、足尾銅山の歴史を伝えるものだった。古河市兵衛によつてはじめられた足尾銅山は、明治から昭和にかけては日本の近代化のための重要な輸出産業として、戦時中は、戦力を担う銅製品として採掘と製錬が行われてきた。

この施設群を今「世界遺産に登録する」ための活動が行われているとのことだった。

敗戦後は、中国人・朝鮮人労働者たちがいち早く責任を追及する闘いに立ち上がった。鉱山で利益を得ている者たちには労働者も含めて、自分たちの生産物が川の下流の人たちを苦しめていることを知るつとしない。

足尾銅山は1973年に閉鎖され、1989年には精錬所も操業を停止している。しかし、1956年の亜硫酸ガスを止める技術が完成されるまでの間、製錬の過程で排出された亜硫酸ガスによって山は草木のない禿山になった。

次に行った本山精錬所跡地付近の山々は、植樹事業によって緑が復活してきていた。しかし、急な斜面に

また、共に働く者たちの過酷な現実を知ろうとしない。おなじようなことが、今日日本でそして労働現場で起きているのではないだろうか？



を眺めた。南部全労協（大田区職労）藤村妙子

第36回連帯する夕べ報告

2014年8月

8月1日(金)「第36回連帯する夕べ」を大井町きゅりあんで開催しました。

今回の連帯する夕べのローガンに「働く者の連帯で、生活と権利を守ろう!」、サブスローガンに「反原発!復興支援!沖繩の闘いに連帯しよう!」、「地域の仲間と連帯し、不当解雇撤回!すべての労働争議に勝利しよう!」、「非正規労働者、未組織労働者と連帯し、貧困・格差社会をなくそう!」、「反動安倍政権打倒!憲法改悪を阻止しよう!」を掲げ開催しました。

調理の手伝いにはJAL原告団や国労の仲間を中心に30名ほど集まり、和気あいあいと準備をしました。集会は国労の千葉さん、中央区職労の猪狩さんが司



手作り料理が評判の連帯する夕べ(8月1日)

会進行し、主催者あいさつなどの後、JAL原告の訴えやDVDの上映がおこなわれました。

その後、昭和シエル労組の柚木さんによる支える会への加入要請や会場カンパのお願いなどがあり、5万円を超えるカンパが集まりました。参加された皆さん大変ありがとうございました。

盧佳代さんやHOWSの皆さんの歌があったり、参加された各争議団からの争議報告を頂いたり盛りだくさんの内容で大変充実した集会でした。

一生懸命作った料理もほとんど完食していただきありがとうございました。最後に全員で後片付けを行い終了してきました。

第36回連帯する夕べは150名以上の方々の参加を頂き成功裏に開催されたことを報告します。

10月26日(日) 亀戸公園で行われる「連帯する夕べ実行委員会」として出店します。ぜひ遊びに来てください。(遠藤)

全国一般三多摩労組 総行動支援のお願い

全国一般三多摩労組では、9月26日(金)に以下の抗議・要請行動を予定しています。ご支援を呼びかけます。

9:30~9:50 申し入れ先:株式会社ENTOENTO
代表取締役 松本 順市 東京都昭島市松原町1-18-11ダイヤヒルズ2階
人事評価コンサルティングを請け負っている株式会社ENTOENTOでは、2013年新卒入社甲斐組員に対し、パワーハラスメント及び退職勧奨をおこなっています。その内容は、「臭いがする」「お前は発達障害だ」などの言葉から、些細なことで始末書にサインを求めるなどです。団体交渉を開催しましたが、誠実に向き合おうとしません。

11:30~11:50 申し入れ先:ファミリーマートFC若葉台一丁目店
谷内 豊 オーナー 東京都稲城市若葉台1-2-3
清藤組員は、店長候補として平成25年2月10日に入社し店長研修終了後に、新店舗で店長業務に就任した直後、店長から降ろされ、解雇が通告されました。組合に加入し、交渉で解雇を撤回させ団体交渉で数々の法令違反を指摘、是正しましたが、自分の思うとおりに行かなくなった谷内オーナーは、団体交渉を忌み嫌ひ清藤組員にパワハラを繰り返しました。清藤組員は抑うつ状態になり、平成26年7月25日付解雇が強行されました。

13:50~14:10 申し入れ先:東京リハビリテーションサービス
代表取締役 青山智・谷隆博 東京都三鷹市下連雀3-32-3名取屋興産ビル301
久保組員は、看護師として2012年10月16日に入社し、訪問看護業務に従事していました。ところが、2013年8月には「久保さんと一緒に仕事をしたくない職員がいる」との虚偽の理由で仕事から外され、9月には自宅待機を命じられました。自己都合退職への同意が、弁護士の署名でねつ造された為、労働組合に加入し「退職不同意通知」を出したところ、即日解雇通知が会社の代理人弁護士11人の署名・捺印で送られました。以降団体交渉を行っていますが、不誠実な対応に終始されたため2013年12月に都労委に救済を求め、現在対応中です。会社は証拠を捏造し都労委に提出するなど、依然として不誠実な対応を繰り返しています。

15:10~15:30 申し入れ先:綿半鋼機株式会社
取締役社長 熊谷 洋平 東京都新宿区四谷1-4
綿半鋼機は長野県に本社を置き、建築業を主として展開している会社です。2013年に在宅診療専門の医師に対して夜間の電話対応を代行する、夜間みのコールセンターを立ち上げました。久保組員は、2014年2月に入社しましたが、会社の事業計画の不備により顧客数は低迷し、業務は改善されませんでした。そして、会社が基本給の削減を実施したため、組合から撤回を求めました。この結果、久保組員に関しては基本給は元の金額に戻りました。ところが、7月22日になり、突如「事業撤退」が決定され、自宅待機、退職勧奨が行われています。看護職を活かせる職場への配置転換を求め交渉していますが、事業の開始及び撤退について責任ある立場の方が交渉に出て来ないため、交渉は難航しています。



不当解雇を労働組合の団結で撤回しよう 久保共闘会議議長(9月18日)

9・18闘争2周年 フジビ集会&デモ

フジビ闘争へのご支援に感謝します。東京労組フジビグループ分會です。9月14日、あの忌まわしいフジ製版偽装倒産・不当解雇から2年となりました。9月18日には、富士美術印刷田中会長自宅マンションの隣地にある田端台公園での決起集会、富士美術印刷社前を通るデモを行い、200名を超えるご参加を頂き、誠にありがとうございました。闘争勝利、解決に向け大きな弾みとなりました。

援共闘会議として荒川区長区議会議員、議員各会派に對し、解決に向けた協力の要請を行いました。併せて区内事業者約200件に向けて現状の報告と和解に向けたご尽力お願いの手紙を出しました。そうした一方で、頑なな姿勢を続ける富士美術印刷田中一族に對しては原則的に対応し、現場での闘いを進めて参ります。当該3名に対するスラップ損害訴訟にとどまらず、社前に立てた旗を、行政を使って撤去させたり(一般商店の旗は黙認)、会社への立ち入りを規制しようとする文書を個人宅に送りつ

援共闘会議として荒川区長区議会議員、議員各会派に對し、解決に向けた協力の要請を行いました。併せて区内事業者約200件に向けて現状の報告と和解に向けたご尽力お願いの手紙を出しました。そうした一方で、頑なな姿勢を続ける富士美術印刷田中一族に對しては原則的に対応し、現場での闘いを進めて参ります。当該3名に対するスラップ損害訴訟にとどまらず、社前に立てた旗を、行政を使って撤去させたり(一般商店の旗は黙認)、会社への立ち入りを規制しようとする文書を個人宅に送りつ

全労協全国一般東京労働組合フジビグループ分會 小金井俊弥